

『あて傷・凹み』

入荷時・組立時・配送時・使用時などにぶついたり落としたりして発生する。

「傷を埋める為の修理方法」



①修理箇所の出っ張りをヤスリで平面にする。

② 出っ張りを平面にし 凹みを確認。



③ アセトンで修理箇所の塗料を落とす。
(瞬間接着を密着させるため)

④瞬間接着で凹みを埋める。



⑤アルテコスプレーで固める。
(瞬間接着剤用硬化促進剤)

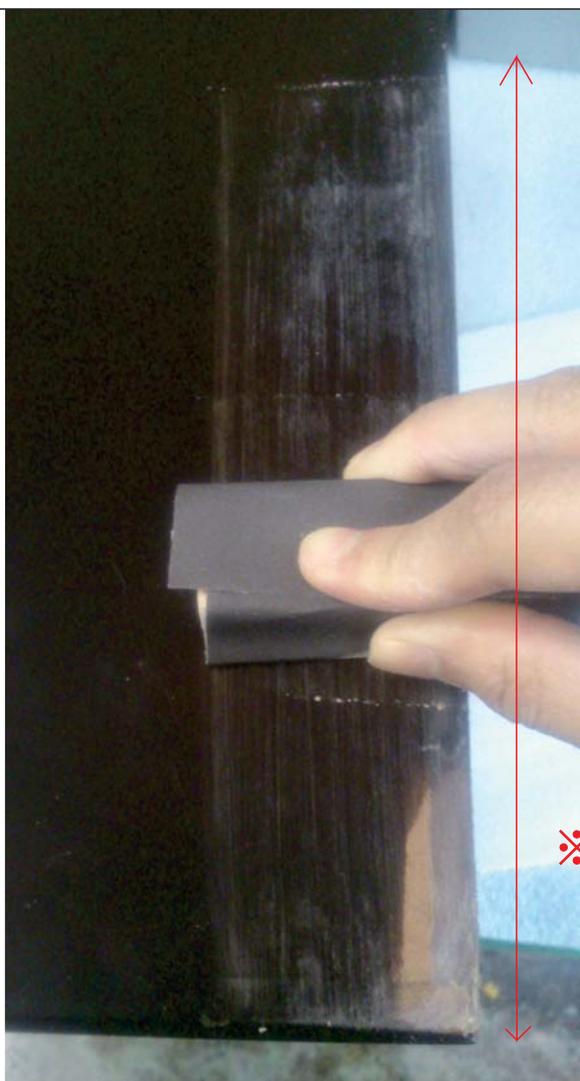
⑥ヤスリを使用し瞬間接着
の余分な部分を研磨し
平らにする。



⑦凸凹が無くなるまでペーパー
#400～#600で研磨する。

※ペーパーの際の注意事項

平面に研磨する為、ペーパーを平らな木等に巻き付けて研磨する。



修理箇所のみでペーパー研磨すると段差ができ修理跡が目立つ為、修理箇所とその周りを広く研磨する。

※広範囲に研磨

⑧凹凸が無くなり平面になっているか指で確認。



⑨ペーパーの跡を隠すために # 800ペーパーで研磨する。

⑩修理箇所以外にも塗装する
箇所には軽く#800ペーパーを
行う。

(表面のゴミを取り除いたり、
塗料の密着性を高めるため)



⑪全体が万遍無くペーパー
できれば塗装に移る。

※修理箇所や修理内容によっては
瞬間接着ではなくポリを使用する

- ・ 研磨がしにくい場所
- ・ 修理傷が広い

ポリは瞬間接着に比べて柔らかく
研磨しやすいが、1時間以上自然乾燥が
必要になる。



段差があって研磨しにくい
修理箇所



瞬間接着の時と同様に
修理箇所をある程度平面に
研磨する。

(ヤスリがしにくい場所だから
#400～#600のペーパーを使用)

瞬間接着と同様に
修理箇所の塗装を
アセトンで除去。



ポリ



パーメックを混ぜる

ポリは二液性の為、ポリと
パーメック（硬化剤）を
混ぜて使用する。

修理箇所をポリで埋める。



1時間以上自然乾燥したら
凸凹が無くなるまで研磨し、
瞬間接着と同様に仕上げの研磨
までした後に塗装に移る。

⑫ 塗装を行う前に全体にエアーをして
ゴミや埃取り除く。



⑬ アセトンや研磨により色が
落ちた部分に着色を行う。

※周りの色と調和させるように
着色させるのがポイントであり
修理箇所の周りも若干着色させる
必要がある。



⑭全体にサンディングシーラーを吹き付ける。



⑮2時間ほど乾燥させた後に
#800ペーパーで軽く
ゴミなどを取り除く。



⑩全体にエアで埃などを取り除く。

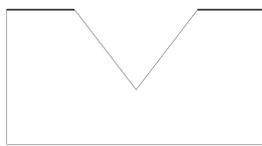


⑪全体に仕上げフラットを吹き付ける。

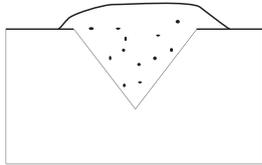
- ⑱修理箇所の問題が無いか確認し、
1 日程度乾燥させて完了。



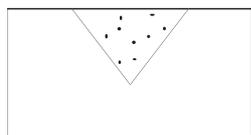
< 参考図 >



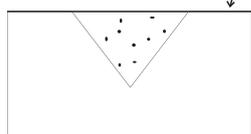
傷・凹み断面図



瞬間接着・ポリ・パテ等で
傷を埋め込み



ヤスリ・ペーパーで平面に
研磨



着色・サンディングシーラー・
仕上げフラット